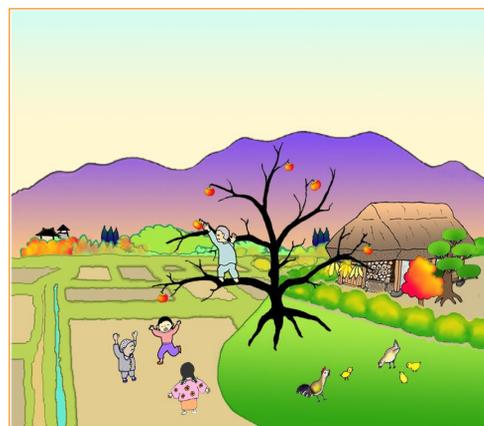


いでみつたかし カレンダー



2006 平成18年

たこたこあがれ
風よくうけて
雲まであがれ
天まであがれ

絵だこに字だこ
どちらも負けず
雲まであがれ
天まであがれ

文部省唱歌
「たこの歌」より



1月

2006 平成18年

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

春と聞かねば
知らでありしを
聞けば急かる
胸の思いを
いかにせよとの
この頃か
いかにせよとの
この頃か

吉丸一昌
「早春賦」より



2月

2006 平成18年

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

七色の谷を
越えて
流れて行く
風のリボン
輪になって
輪になって
駈けて行ったよ
歌いながら
駈けて行ったよ

江間章子
「花の街」より



3月

2006 平成18年

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

座をつめて
また座をつめて
花筵
石川天虫



4月

2006 平成18年

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

百瀬の滝を
登りなば
たちまち龍に
なりぬべき
わが身に似よや
おのこ子と
空に踊るや
鯉のぼり

文部省唱歌
「鯉のぼり」より



5月

2006 平成18年

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

田植え近づく
田の水に
よべば答えて
なく蛙
思わぬ方に
声するは
水鶏と
友は教えたり

大和田建樹
「散歩唱歌」より



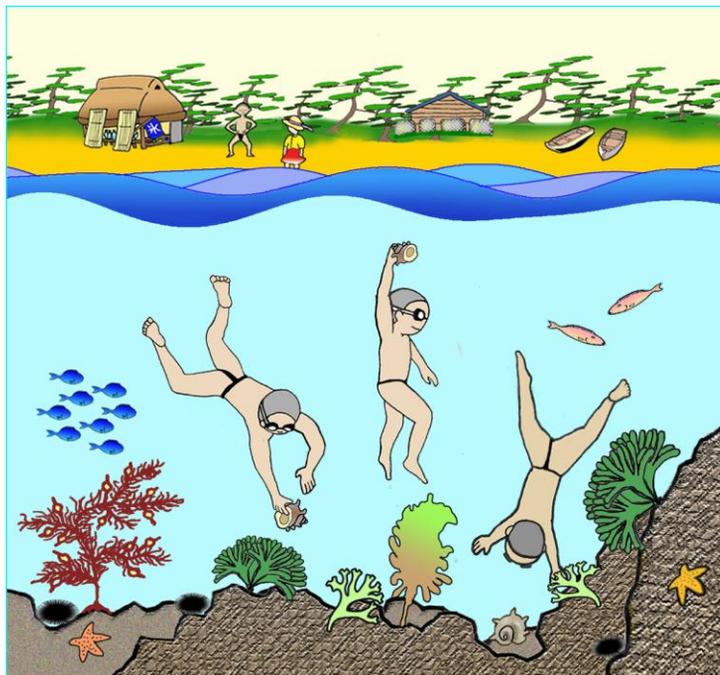
6月

2006 平成18年

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

丈余のろかい
 操りて
 行方定めぬ
 浪まくら、
 百尋千尋
 海の底
 遊びなれたる
 庭広し。

文部省唱歌
 「われは海の子」より



7月

2006 平成18年

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

花火があがる、
銀と緑の孔雀玉

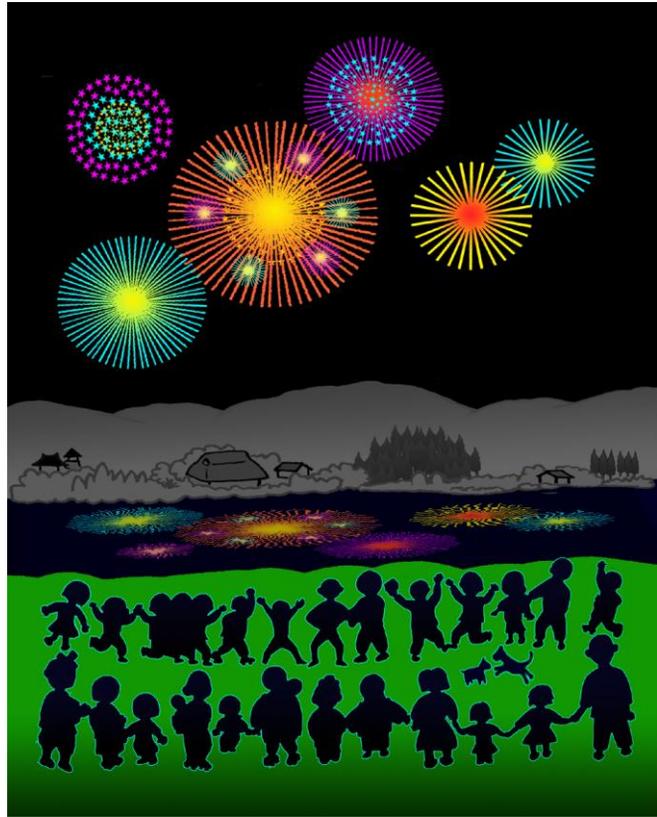
.....

パッとかなしく
ちりかかる。

紺青の夜に、
大河に、

夏の帽子に
ちりかかる。

北原白秋
「花火」より



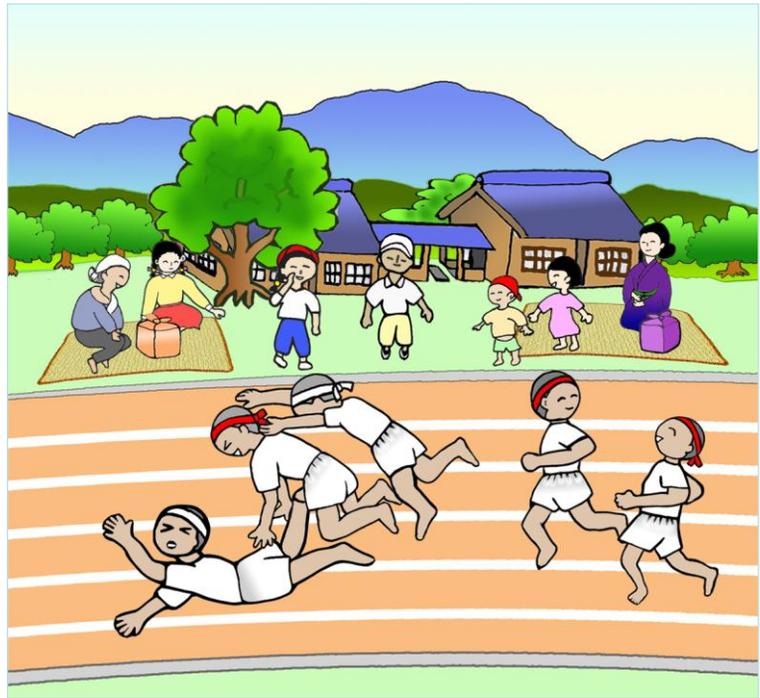
8月

2006 平成18年

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

校庭では
 運動会の練習が
 されていて
 体操をする子
 ボールを追う子
 ピッ ピッと
 先生の笛の音
 私も見とれている
 子供にかえりたい
 願望を抱いて
 それは果たされない
 願いにしても
 小さな子と一緒に
 見とれている

高田敏子
 「校庭」より



9月

2006 平成18年

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

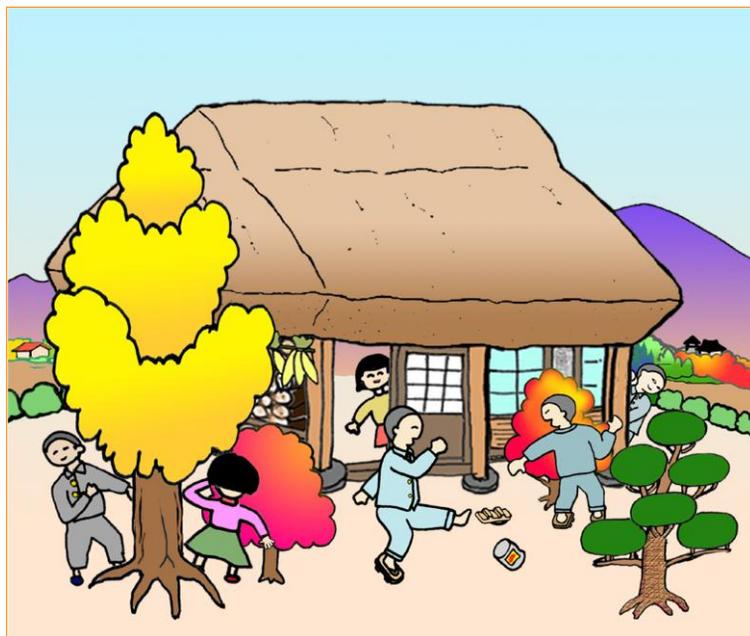
それらの友は
どうしたか

甘い林檎の
香のような

その日の友も
おほかたは

故郷に住まず
なりました

三好達治
「故郷の柳」より



10月

2006 平成18年

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

お家をでれば
空がある。
きつとお頭の
上にある。

空の上にも
空がある。
神さまの国、
空がある。

與田準一
「空がある」より



11月

2006 平成18年

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

雪がふる、
雪がふる。

兄から、姉から、
おととにいもと、
あとから、
あとから
雪がふる。

金子みすず
「淡雪」より



12月

2006 平成18年

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						